



モリモト医薬 イノベーション フロント M I F 交流サロン オープニングセミナー・セレモニー

■日時：平成25年12月19日 木曜日

第1部 13:00~16:00 第2部 16:30~19:00

■場所：大阪富国生命ビル4階 まちラボ内セミナールーム

第1部 セミナー 13:00~16:00

1. 開会挨拶 13:00~13:10

盛本 修司 株式会社モリモト医薬 代表取締役

2. 最新の中国事情！ 特別セミナー 13:10~13:50

範 雲涛先生 亜細亜大学 アジア・国際経営戦略研究科教授

「胡錦涛から習近平への対日政策転換の解説と、今後の中国ビジネス新戦略」
～防空識別圏の挑発の真相、今後の対応策とは～

3. 医薬品研究 最前線！ セミナー 13:50~14:30

小川 泰亮先生 元武田薬品工業株式会社 DDS 研究所所長

「ドラッグデリバリーシステムの考え方と実際例」
～①放出制御（1ヶ月持続） ②腫瘍へ標的制御～

休憩 14:30~14:45

4. 最先端のハーブ医薬品！ セミナー 14:45~15:25

永井 克也先生 大阪大学 名誉教授

「革新！ ハーブ素材での黒髪・薄毛改善と抗癌作用への奇跡を探る！」

5. 認知症・高齢化社会への挑戦！ 15:25~16:00

盛本 修司 株式会社モリモト医薬 代表取締役

- ① 武田薬品研究スピリッツとは？… モリモト医薬の独創的な革新的製剤誕生・事業化
- ② 服薬革命！ 薬の飲み方が大きく変わります！ 新しい服薬時代へ

M I F 交流サロン見学会 16:00~16:30

第2部 セレモニー・レセプション 16:30~19:00

1. 目録・感謝状授受式：中川 暢三様 大阪市北区 区長

2. レセプション開会挨拶：小林 昭雄様 一般社団法人テラプロジェクト 理事長
「テラプロジェクトのご紹介、モリモト医薬への期待」

講師の方々のご略歴・ご講演要旨

範 雲涛（ハン ウントウ）先生

ご略歴

亜細亜大学教授、京都大学法学博士

これまで、鄧小平氏の長女 鄧林様、中国国家副主席 栄毅仁氏とドイツ前首相ハルムド・シュミット氏、日本国中国駐在大使 崔天凱氏など多くの著名人の通訳をご担当。日中関係や日中経済論、国際ビジネス法務について、理論と現場の両方に精通した第一人者で、外務省、日本銀行、特別行政法人 科学技術振興機構、JETRO、伊藤忠など官民双方よりの依頼にて多数講演をされています。アサヒビール、伊藤忠、住金物産、青島ビールなどによる日中大型合併事業の新設プロジェクト、資生堂上海現地法人立ち上げ設立などを成功させるなど、これまで大手企業数百社とのビジネスに関わられました。『中国ビジネスの法務戦略』『やっぱり危ない！ 中国ビジネスの罠』『中国ビジネス とんでも事件簿』など著書多数。

ご講演要旨

2012年9月に尖閣諸島をめぐる「国有化」決定以降、日中関係は、両国の政権交替と伴ってナショナリズムの激昂も相まって対立と緊張の度合いが高まってきました。国交回復40年の成果もむなしく、政冷経冷の袋小路に彷徨してしまいました。日系企業の対中投資経営事業は、大きな歴史的な曲がり角にさしかかっていると云えます。チャイナリスクの正体を見極め、等身大の対中ビジネス戦略を如何に見直せばよいか？危機管理体制をきちんと構築する為には、どのような企業法務対策を講じればよいか？しかるべき最適な処方箋を示そうとするのが、今回の講演趣旨と目的です。すなわち、21世紀初頭から2050年までに至る対中ビジネス戦略の総決算を行う意味で、従来とは異なるハイブリッド型のグローバル視野に立ったマネジメント体制とは何かを模索できる新たな思考法を提示することが、講演の内容となっています。

小川 泰亮先生

ご略歴

元武田薬品工業株式会社 創薬研究本部 DDS 研究所所長、京都大学薬学博士

元聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター 客員教授

元ガレニサーチ株式会社 代表取締役社長

ブロックバスター薬となっている徐放製剤リュープリンの主たる研究者であり、パンスポリン T 錠なども設計されました。100を超える多くの研究論文を発表され、幾つも受賞されています。特に平成7年の全国発明賞 恩賜賞はその年の発明（特許）の中で最も優れた発明と評価されました。新しい薬物療法として期待されるドラッグデリバリーシステムの研究開発を推進されました。

ご講演要旨

ドラッグデリバリーシステム（DDS）という考え方が提唱されて半世紀近くになり、数多くの医薬品が生まれました。一方では一般的には広く認知されているとはいえない状況です。ここでは、DDSの考え方と私が関与したDDSのうち2つの例として、ホルモン性疾、例えば前立腺がん、乳がん、子宮内膜症などに有効な放出制御システムであるリュープリン及びパッシブターゲットングを利用した腫瘍への標的システムであるパクリタキセル高分子ミセルについて紹介致します。

永井 克也先生

ご略歴

大阪大学名誉教授、大阪大学医学博士

元大阪大学蛋白質研究所所長

株式会社ANBAS 代表取締役社長

大阪大学医学部を卒業し、大阪大学大学院を修了（医学博士）された後、愛媛大学医学部助教授、大阪大学蛋白質研究所助教授を経て、大阪大学蛋白質研究所教授となられ、平成12年～16年大阪大学蛋白質研究所所長を勤め、平成18年定年退職（大阪大学名誉教授）。平成19年株式会社ANBASを設立されました。その間、昭和49年から2年間米国シカゴ大学博士研究員。所属学会（生化学会、肥満学会、国際時間生物学会、国際医学研究会など）

ご講演要旨

大学在職中、私はグレープフルーツとラベンダーの精油の香りが自律神経の制御を介して、脂肪分解、体温、血圧、食欲などに影響を与えることを、動物（ラット）を使う実験により明らかにしました。この成果より、自律神経変化と生理機能変化の關係に確信を得た私は、退職後ベンチャー会社を設立し、食品、薬品、アロマ製品などの機能を明らかにする試験を企業や大学から受託しています。その間、会社独自の活動として、タイなどの植物から美容に良い植物、糖尿病や高血圧に良い植物や免疫を促進する植物などを見付けているのでご紹介致します。

ご挨拶

株式会社モリモト医薬 代表取締役
盛本 修司

大阪市梅田の大阪富国生命ビル4階に「まちラボ」が誕生致しました。LIFE TREE TOWN(Machi-Labo)は、産学活動に市民が連携した、「緑と食を中心とした21世紀型の新しいヘルシーライフスタイル」を研究・開発し、提案するラボラトリーフロアです。

私共、モリモト医薬は、「まちラボ」内に、医療・介護・防災に関わる皆様の交流の場として、当社の掲げる『服薬革命』の拠点（ラボ）として、「健・楽・美」の協奏空間として、ショールーム、スクール、スタジオの《3S空間》をご提供させて頂くことに致しました。それがMIF交流サロンでございます。今後は多くの方々にご利用戴けるよう多彩で魅力的なイベントをご用意して参ります。

モリモト医薬 イノベーション フロント MIF交流サロンの運営母体である株式会社モリモト医薬は製薬ベンチャー9年目の会社でございます。創業者である私盛本修司は、武田薬品にて20年間研究に従事し、後の記録的なロングセラーとなった『タケプロンOD錠（口腔内崩壊錠）』の開発では、プロジェクトリーダーとして携わっておりました。

武田薬品退社後の2005年にモリモト医薬を創設し、服薬に関する研究開発型の事業を行う等、常に製薬一筋に歩んで参りました。更に、2013年には、経産省、大阪府、大阪市のそれぞれの助成金を獲得し、2014年より世界特許である嚥下支援のゼリー食品の製品『GTパック』の製造販売を開始するに至りました。現在、オリンピックイヤーである2020年には《薬はゼリーで飲む時代》を目指し、世界市場を視野に入れた活動を積極的に進めております。

GT剤（ゼリーと組み合わせた製剤）の研究開発過程において、製薬会社の開発と医療現場との間で服薬環境に大きなギャップや問題点、すなわち、製薬会社の想定外（保証範囲外）の使用法、服薬のコンプライアンス（遵守）の悪さが現存しているということを知りました。その問題点を解決すべく、新たな商品開発に着手し、『GTパック』（食品）と『クイックバッグ』（医療）を開発、来年には販売予定でございます。現在、日本が抱える認知症などの介護社会、高齢化社会のみならず、災害時にも対応できる必需品であり、即戦力となる商品開発を展開して参ります。

《服薬革命！ 良薬は口に楽し！》私共 モリモト医薬の強い信念です。

略歴

京都大学工学部化学工学科卒業

元武田薬品工業 製剤研究所所属 開発10品目 出願特許70件以上

元武田薬品工業 天津武田薬品 工場長